



## シャーシのラックマウント

- [シャーシの開梱と確認](#) (1 ページ)
- [シャーシのラックマウント](#) (2 ページ)
- [ケーブルの接続、電源の投入、接続の確認](#) (5 ページ)

### シャーシの開梱と確認



**ヒント** シャーシを輸送する場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

シャーシで標準装備になっている項目の一覧については、[パッケージの内容](#)を参照してください。

- ステップ 1** 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2** カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ 3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号 (梱包明細を参照)
  - 破損している装置のモデルとシリアル番号
  - 破損状態の説明

- 破損による設置への影響

## シャーシのラックマウント

シスコのラック キットを使用して、ラックにシャーシを設置できます。

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準的な 48.3 cm (19 インチ) 幅 4 支柱 EIA ラック (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサルピッチに適合するマウント支柱付き)。
- 付属のスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、9.6 mm (0.38 インチ) の正方形、7.1 mm (0.28 インチ) の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- シャーシあたりの縦方向の最小ラック スペースは 1 RU、つまり 44.45 mm (1.75 インチ) である必要があります。
- シャーシのスライド レールの調整範囲は 610 ~ 914 mm (24 ~ 36 インチ) です。



- (注) シャーシ用にシスコから提供されるスライド レールの場合、設置先のラックに 9.6 mm (0.38 インチ) の正方形、7.1 mm (0.28 インチ) の丸形、または #12-24 UNC のネジ穴があれば、設置用の工具は必要ありません。

### 始める前に

次の警告に注意してください。



#### 警告 ステートメント 1006 : ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

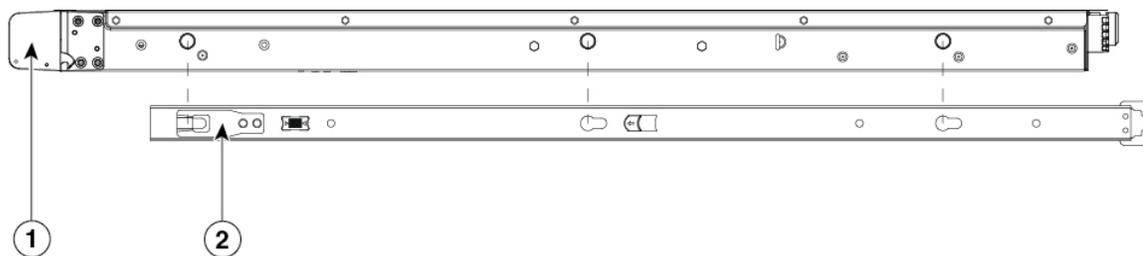
ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

**ステップ1** シャーシの側面に内側レールを装着します。

- a) レール内の3つのキー付きスロットがシャーシ側面の3個のペグの位置に合うように、内側レールをシャーシの一方の側の位置に合わせます。
- b) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。前面スロットには、前面ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- c) 2つ目の内側レールをシャーシの反対側に取り付けます。

図1: シャーシ側面への内側レールの取り付け

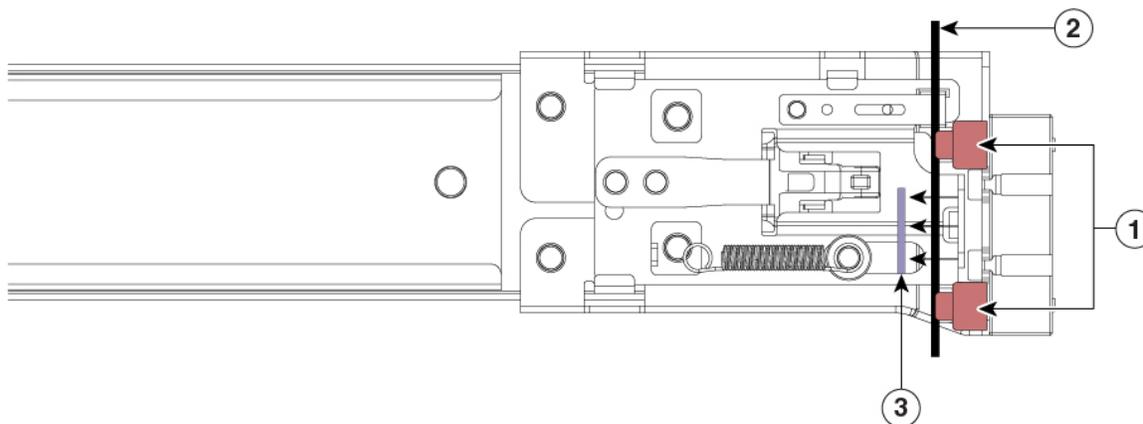


1	シャーシ前面	2	内側レールのロックングリップ
---	--------	---	----------------

**ステップ2** 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図2: 前面の固定部分、前端の内側



1	前面側の取り付けペグ	2	ラックポスト
3	開いた位置に引き戻された固定プレート		

**ステップ3** スライドレールを次のようにラックに取り付けます。

- a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。

スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部からラック支柱の穴に入ります。

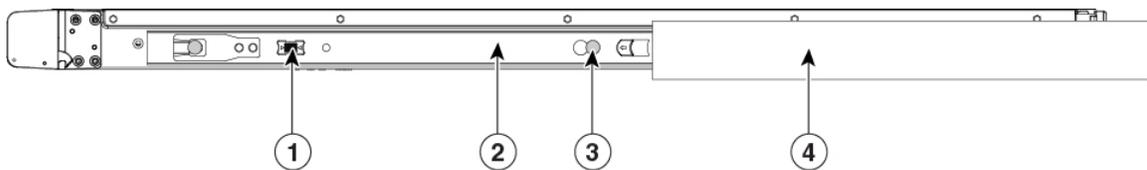
(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。

- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に押し込みます。
- c) 「PUSH」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。
- d) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2個のスライドレール部品が相互に同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- e) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

#### ステップ4 シャーシをスライドレールに装着します。

- a) シャーシの側面に装着されている内側レールの背面を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。
- b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。
- c) 両方の内側レールでリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、シャーシをラックに押し込みます。

図3:内側レールのリリースクリップ



1	内側レールのリリースクリップ	2	シャーシに装着され、外側レールに挿入されている内側レール
3	レールのロックを解除するボタン このボタンを押してレールのロックを解除すると、アンインストールまたはメンテナンスの実行時に、シャーシをラックから取り外すことができます。	4	ラック支柱に装着されている外側レール

**ステップ5** (オプション) スライドレールに付属の2本のネジを使用して、シャーシをさらに確実にラックに固定します。シャーシを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。シャーシをスライドレールに完全に押し込んだ状態で、シャーシ前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、シャーシが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

#### 次のタスク

「[ケーブルの接続](#)、[電源の投入](#)、[接続の確認](#)」に進みます。

## ケーブルの接続、電源の投入、接続の確認

シャーシをラックに取り付けたら、次の手順に従ってケーブルの接続、電源の投入、接続の確認を行います。



- (注) AC 電源装置は内部アースがあるため、サポート対象の AC 電源コードを使用する場合は、それ以上シャーシのアース接続は必要ありません。サポートされている電源コードの詳細については、[電源コードの仕様](#)を参照してください。

### 始める前に

次の警告を記録しておいてください。



- 警告** **ステートメント 1009** : レーザ放射  
システムの開口部からは、レーザー光が放射されています。



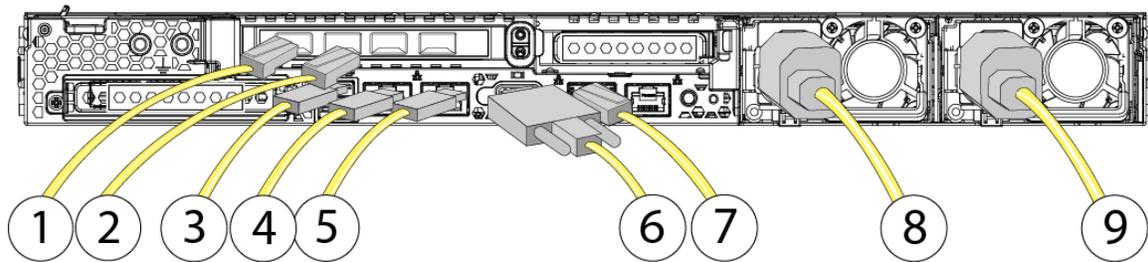
- 警告** **ステートメント 1051** : レーザー放射  
接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

**ステップ 1** シスコがサポートする SFP+ トランシーバ 1 台とケーブルを左端の SFP ポートに接続します。これは Opadmin コンソールを介して Threat Grid M5 を管理するために使用される eth0 であり、セキュアな管理ネットワークに接続する必要があります。

シスコ認定の各 SFP+ トランシーバには、セキュリティ情報が符号化された内部シリアル EEPROM が組み込まれています。このエンコーディングによって、SFP トランシーバが Threat Grid M5 シャーシの要件を満たしていることを識別して検証できます。

- (注) シスコ認定の SFP+ トランシーバのみ、10-G インターフェイスと互換性があり、両方のトランシーバが 1-Gb または 10-Gb である必要があります。種類ごとに 1 つずつトランシーバを使用することはできません。Cisco TAC は、テストされていないサードパーティ製の SFP+ トランシーバを使用したことに起因する相互運用性の問題についてはサポートを拒否することがあります。

図 4: ケーブル接続



<p><b>1</b> SFP 管理インターフェイス (Admin) 管理および NFS サーバ接続に使用 10 ギガビット イーサネット SFP+ のサポート SFP-10G-SR および SFP-10G-LR は、Threat Grid M5 での使用に適しています。</p>	<p><b>2</b> SFP インターフェイス (Clust) クラスタ相互接続に使用 10 ギガビット イーサネット SFP+ のサポート SFP-10G-SR および SFP-10G-LR は、Threat Grid M5 での使用に適しています。</p>
<p><b>3</b> USBポート (2 個)</p>	<p><b>4</b> データインターフェイス (クリーン) リンクパートナーの機能に応じて 100/1000/10000 Mbps をサポートします。</p>
<p><b>5</b> データインターフェイス (ダーティ) ギガビットイーサネット 100/1000/10000 Mbps インターフェイス、RJ-45、LAN2</p>	<p><b>6</b> VGA ビデオポート (DB-15 コネクタ)</p>
<p><b>7</b> CIMC インターフェイス (M5 では無効) (注) CIMC はどのインターフェイスでもサポートされていません。</p>	<p><b>8</b> 770 W AC 電源装置 (PSU 1) 1 + 1 の冗長構成です</p>
<p><b>9</b> 770-W AC 電源装置 (PSU 1) 1 + 1 の冗長構成です</p>	

- ステップ 2** シスコがサポートする 2 番目の SFP+ トランシーバとケーブルを、ステップ 1 の eth0 ポートの右側にある SFP ポートに接続します。これは、コンソールにアクセスするために使用される eth1 であり、Threat Grid M5 がトラフィックをモニタできるようにします。
- ステップ 3** サポート対象の電源コードを使用して、シャーシの電源装置を電源に接続します。サポートされている電源コードの詳細については、[電源コードの仕様](#)を参照してください。
- ステップ 4** キーボードを USB ポートのいずれかに、モニタを VGA ポートに接続します。
- ステップ 5** アプライアンスの電源をオンにして、起動するまで待ちます。
- ステップ 6** サーバ起動と接続が正常終了すると、コンソールに TGSH ダイアログが表示されます。[設定ガイド](#)の説明に従って、初期設定手順を完了します。